

# 令和3年度第1回 城陽市地域公共交通会議

## 議題（4）

久世小学校区4自治会からの請願への対応  
について（報告）

## (4) 久世小学校区4自治会からの請願への対応について

### 1. 本議題の概要

平成30年12月議会において、久世小学校区の4自治会（上大谷友が丘、下大谷、城陽団地、緑ヶ丘）が「交通の手段についての請願」を市議会に提出

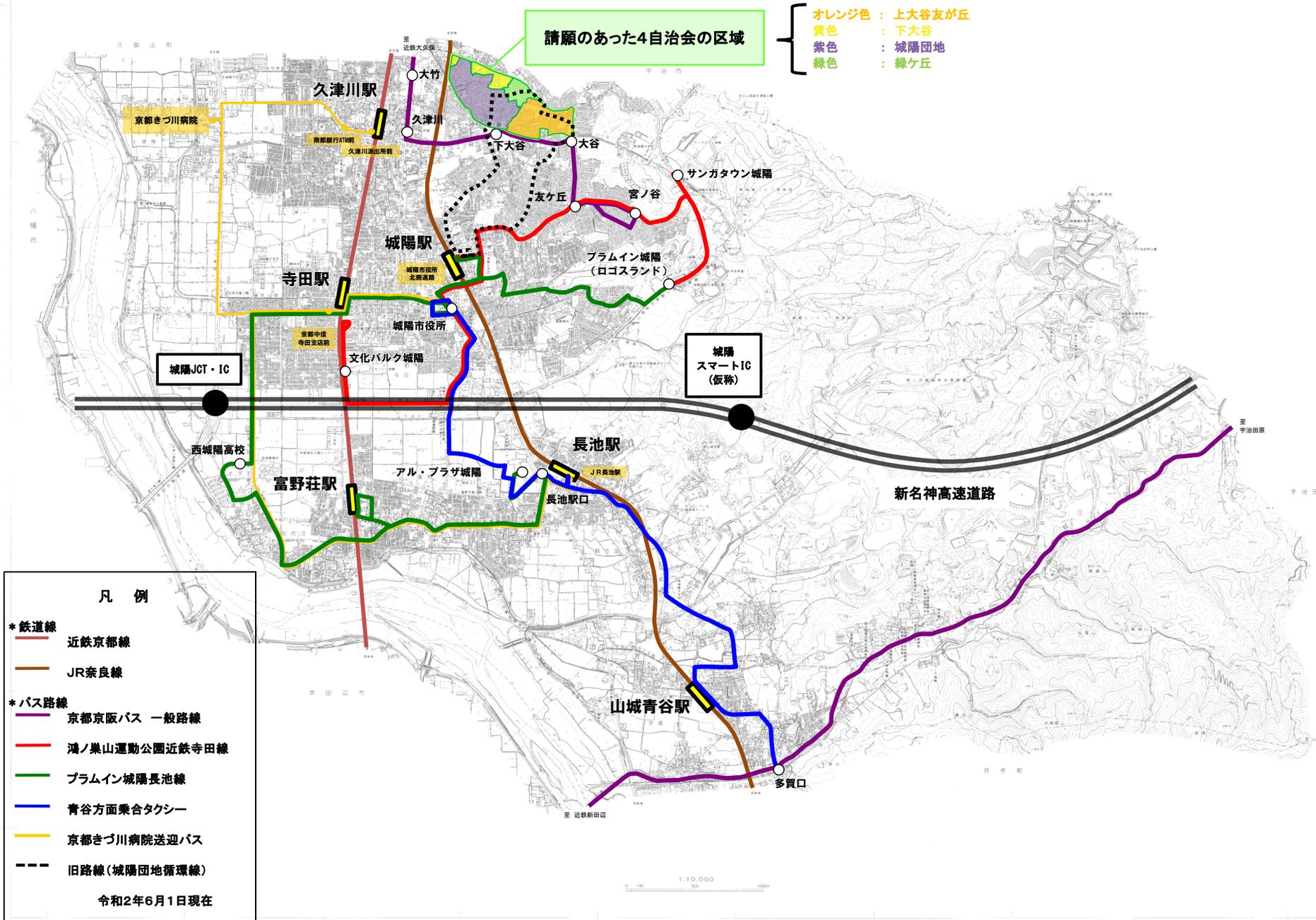
⇒市議会にて審議された結果、担当課と自治会代表で話し合いの場をもつことが採択

⇒市と自治会長で話し合いを実施（平成31年2月・令和元年5月）

⇒自治会の住民に対してアンケートを実施（令和元年7月～8月）

⇒アンケート結果を踏まえ、市で対策案を検討、自治会に提示（令和2年10月）

⇒4自治会から対策案の実施可否について回答（令和3年1月）



# (4) 久世小学校区4自治会からの請願への対応について

## 2. 請願の趣旨

- 城陽団地循環線が休止となった当時とは高齢化の進行などに伴い状況が変化
- 坂の多い地域であり、高齢者の交通手段の要望が高まっている

⇒ 地元と市で話し合いの場を持ち、地元の思いを聞きながら、何か交通手段を  
考えられないか

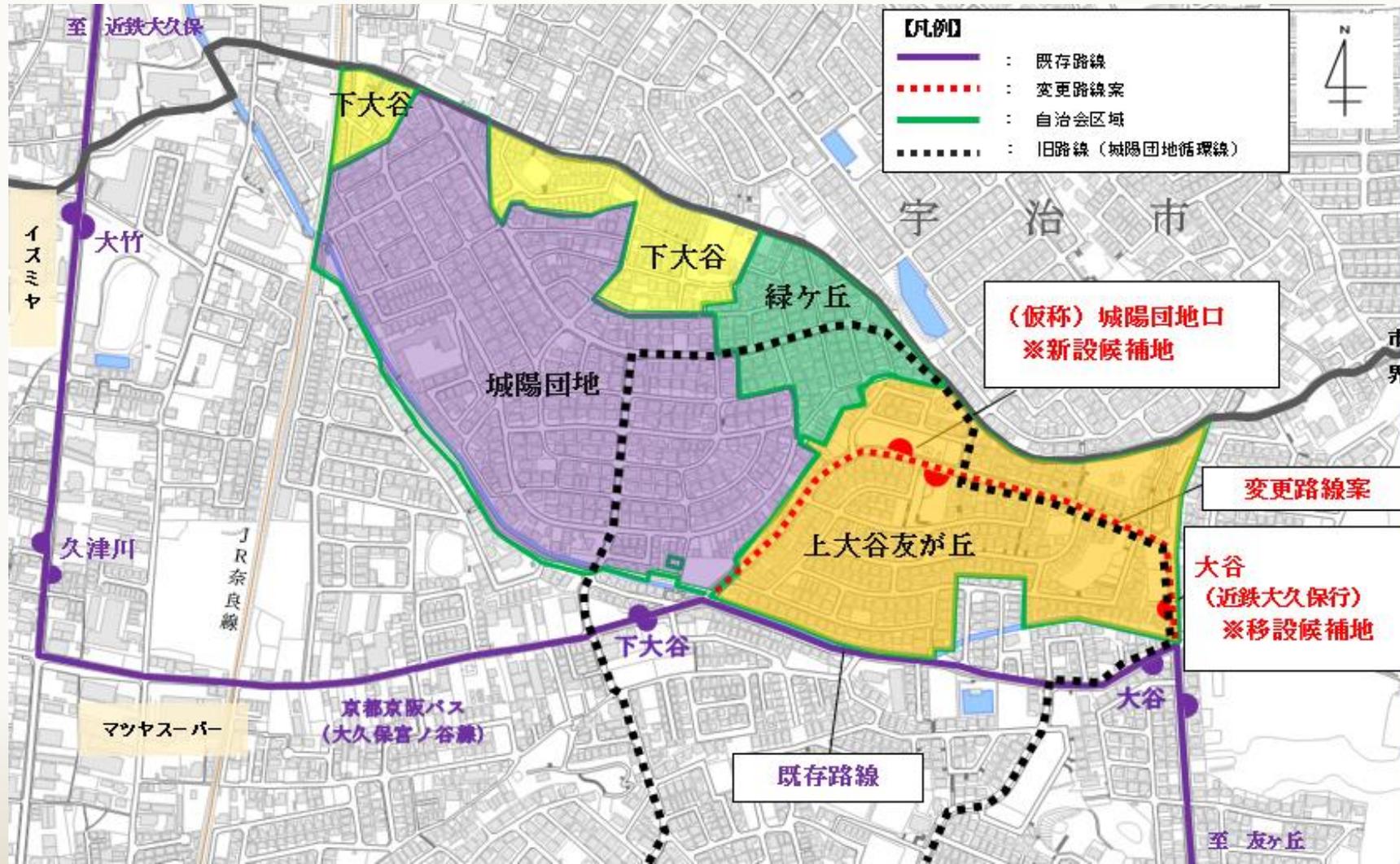
## (4) 久世小学校区4自治会からの請願への対応について

### 3. アンケートにおける主な意見（多かった内容）

- 現在は大丈夫だが、今後、車の免許の自主返納を考えており、免許返納後の移動手段に不安を感じている
- バス、乗合タクシーが利用できれば、安心できる
- 徒歩、自転車での移動が困難なため、バス、乗合タクシーが必要
- 以前走っていたバス（城陽団地循環線）を復活させてほしい
- 現在は健康なのであまり不自由はない
- 必要時はタクシーを利用する

# (4) 久世小学校区4 自治会からの請願への対応について

## 4. 対策案の提示



# (4) 久世小学校区4 自治会からの請願への対応について

(写真) バス停新設候補地「(仮称) 城陽団地口」としていた上大谷友が丘自治会の坂の頂上付近



## (4) 久世小学校区4自治会からの請願への対応について

### 5. 各自治会からの回答結果

自治会	回答
上大谷友が丘	沿線及びバス停新設・移設付近の住民の理解を得ることが難しい
下大谷	賛成
城陽団地	賛成（ただし、上大谷友が丘自治会の状況次第で路線変更できないとなった場合でも、その結果で構わない）
緑ヶ丘	賛成

## (4) 久世小学校区4 自治会からの請願への対応について

### 6. 各自治会からの主な意見

自治会	主な意見
上大谷友が丘	<ul style="list-style-type: none"><li>・坂道であることからスピードを出して走る車が多く、現状、カーブで事故も起こっている状況で、安全性への不安がある</li><li>・騒音・振動がひどくなる</li><li>・数としては賛成が反対を上回ったが、沿線住民の方々から家庭や子供の事情もあり、猛反対があった</li></ul>
下大谷	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回の対策案は、直接影響する場所ではなかったため、賛成が多かった</li><li>・下大谷も高齢化が進んでおり、市役所までの足がない、公共交通を乗り継いで行くのは時間がかかるなど、市役所までのバスがあればよいという要望の声があった</li></ul>
城陽団地	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会としては賛成するが、各論として反対の人もいる</li><li>・城陽団地を通るわけではないため、直接的な意見は言えず、実施できないとなってもそれに従う</li><li>・利害関係になると強固に反対される方が出てくるのは仕方ない</li></ul>
緑ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"><li>・強力に押し進める人が自治会内にいるわけでもなく、実施しないという結果は仕方ないと考える</li><li>・緑ヶ丘自治会内でも、停留所に近くなる人は、バスが坂を登るときの騒音がすごいので反対という人もいた</li></ul>

## (4) 久世小学校区4自治会からの請願への対応について

### 7. 総括

- 総論賛成（交通手段が必要）、各論反対（路線や停留所の決定）
- 地域一丸となつての取組が必要
- 既存路線維持のため、利用者意識の醸成や更なる利用啓発への取組